第5回EISESiV/iSyMs合同公開シンポジウム

～ PCの歴史から探る「次なるAI基盤」：メモリが主導する新アーキテクチャとは ～

主催：東京科学大学 総合研究院 EISESiVコンソーシアム/集積システム材料産学連携コンソーシアム（iSyMs）

技術の進化とビジネス戦略が交わるとき、アーキテクチャは姿を変えます。PCはIntel、AIはNVIDIAが主導権を握るいま、次の主役は誰でしょうか。LLMは膨大なメモリ容量と帯域を求め、「メモリの壁」が顕在化しています。ロジック面積がメモリを下回りつつある中、データのすぐそばで演算する効率的なアーキテクチャが実現すれば、主導権はプロセッサからDRAMやフラッシュメモリへ移るかもしれません。チップ間を広帯域につなぐ接続技術や、積層・異種集積といった3D実装技術の進展も、この流れを後押しします。本シンポジウムでは、スーパーコンピューター、メモリデバイス、AIアーキテクチャの第一線の方々をお招きし、ご講演とパネル討論を通じて「メモリセントリック時代」の行方を探ります。

プログラム（敬称略）

14:00 開会挨拶
東京科学大学 総合研究院 特任教授 （EISESiVリーダー） 廣井 聡幸

14:15 招待講演 1
富岳NEXTの開発と次世代メモリ技術への期待
理化学研究所 計算科学研究センター次世代高性能アーキテクチャ研究チーム チームプリンシパル
兼 慶応大学 理工学部 情報工学科 教授 近藤 正章

14:45 招待講演 2
AIの記憶は、次のAI基盤をどう変え得るか
～ 現在の変化を捉え、将来アーキテクチャと研究開発の問いを考える ～
キオクシア株式会社 AI・システム研究開発センター グループ長 出口 淳

15:15～15:25 休 憩

15:25 招待講演 3
NAND for AI Memory
サンディスク株式会社 Chief Technology Fellow 東谷 政昭

15:55 招待講演 4
メモリ階層から再構成する分散統合型コンピューティング
筑波大学 システム情報系 教授 / 熊本大学 教授（クロスアポイントメント） 山口 佳樹

16:25 招待講演 5
メモリ・セントリック・コンピューティング
東京大学 工学研究科・電気系工学専攻 電子情報工学科 教授 竹内 健

16:55～17:25 総合討論
進行： 東京科学大学 総合研究院 特任教授 廣井 聡幸

17:25 閉会挨拶
東京科学大学 総合研究院 特任教授 （iSyMsリーダー） 平本 俊郎

18:00～19:30 意見交換会
会場 東京科学大学 蔵前会館 大会議室 （会費：1,500円）

Institute of SCIENCE TOKYO

EISESiV Research Center for the Earth Inclusive Sensing Empathizing with Silent Voices

iSyMs Industry-University Consortium for Integrated Systems-Materials

2026年11月27日（金）

14:00 ～ 17:30

（13:30 受付）

会 場 東京科学大学
大岡山キャンパス
三島ホール

Zoom併用によるハイブリッド開催

参加無料　事前予約制・事前登録

参加登録サイト

https://forms.gle/ruTjodjCDRFUjczSA

大岡山キャンパス案内図



お問い合わせ： 東京科学大学 総合研究院 集積Green-niX+研究ユニット knc-info@knc.iir.isct.ac.jp